

金子やすゆき議員に対する議員辞職を求める決議

金子やすゆき議員が、ツイッターで「アイヌ民族なんて、いまはもういないんですよ。せいぜいアイヌ系日本人が良いところです」、「私も選挙に落ちたら〇〇〇になろうかな」と書き込んだことに、撤回と謝罪を求める声が集中している。しかし、金子やすゆき議員はその意思がないとの発言を繰り返している。

金子やすゆき議員のこれらの発言は、2007年9月に国連総会で「先住民族の権利に関する国際連合宣言」が採択され、2008年6月に全議員賛成のもとで衆参両院が行った、アイヌ民族を日本の「先住民族」と認めた「国会決議」をないがしろにするものである。

また、アイヌ民族のこれまでの苦難の歴史や権利回復を求める闘いを全否定するばかりか、今現在、多くの困難の中で歴史や文化の伝承に取り組むアイヌ民族の尊厳を踏みにじる差別発言である。

本市議会としても、金子やすゆき議員に発言の撤回と謝罪を求めたにもかかわらず、それを行わないことは、議員としての資質に欠ける行為であると同時に、議会の信頼を大きく失墜させるものであり、断じて容認できないものである。

よって、本市議会は、金子やすゆき議員にすみやかに議員を辞職することを求めるものである。

以上につき、決議する。

平成26年（2014年）9月22日

札幌市議会

（提出者）民主党・市民連合、公明党、日本共産党、市民ネットワーク北海道、
改革所属議員全員及びみんなの党木村彰男議員